

被災地学習支援活動（中学生対象）



本活動は、被災地における中学生の学習支援をしたいという思いから、2011年に立ち上げました。

東日本大震災から今年で約7年が経過していますが、今でも、震災によって親が亡くなったり職を失ったりして、生活保護家庭になっている子どもたちが多くいます。復興のステージが変わっていくにつれて、こ

のような子どもたちの学習支援の必要性は増えています。塾に行けない、問題集が買えない、模試が受けられないというような、学習の機会の制限が余儀なくされているのです。

私たちは、生活保護家庭を中心とした、経済的苦境に立たされている中学生に対し、学習支援を行っている活動です。現地のNPO法人、それに所属する大学生と協力し合って、中学生の指導を行っています。子どもたちが十分な教育を受けられないために起こってしまう「貧困の連鎖」を少しでも食い止め、学習支援を通して復興の一翼を担っていこうという趣旨で活動しています。名実ともに復興が実現するためには、次世代を担う子どもたちの教育が復興することが必要なのです。

さまざまな苦境に立っても将来に対する希望を失わず、ひたむきに努力する中学生がいます。そして、自分の時間の多くを費やして中学生の指導に本気で取り組む大学生。「そんな彼らに対して役に立てることがたくさんある。だからやる。」という思いで活動しています。

本活動グループは、河合塾グループ内における、中学生指導専門講師を中心に、有志20名で構成されています。大学生の指導力向上のための研修・中学生への直接指導・モチベーションアップに向けた講演などを、精一杯やっています。私たちの専門分野で活躍できて、生徒や大学生の役に立ち、そして中学生が未来に向けて一歩踏み出す。そんなすばらしい活動にしていきたいと思います。



苦境に立っていた中学生が成長するにつれ、「あの時大人達が本気で温かい援助の手を差し伸べてくれた」という感謝の心を胸に、立派な大人へと成長してくれるものと確信しています。

今までに、延べ200人以上の中学生の高校受験に向けた学習支援をしてきました。そして、今年も、めざす高校受験に向けて一丸となって取り組んでいます。

現地の中学生や大学生ボランティアから、感謝の言葉や熱いご要望もいただき、さらに役に立つ活動をしなればという思いを新たにしています。復興には長い年月を要しますが、これからも息の長い活動を活発に行ってまいります。

第3回企業ボランティア・アワード受賞
(2018年2月23日)